

調査の概要

1. 趣旨

不登校児童生徒の状況・課題を把握し、今後の支援の充実に供するため、不登校児童生徒と保護者に対するアンケート調査を実施する。

2. 調査方法

○ 調査対象

- ① 今年度、累計 10 日以上、学校の所属学級に登校しなかった児童生徒（68 人）
 - ② 上記の対象児童生徒の保護者（68 人）
- ※ 欠席日の起算は本日時点（7 月 17 日）。

○ 調査方法

- ・ 担任教員により回答依頼文を対象家庭に手交、回答者は依頼文に従いオンラインフォームにより回答

○ 調査期間

- ・ 令和 6 年 7 月 17 日（水）～令和 6 年 9 月 4 日（水）

○ 有効回答数

- ・ 児童生徒（15 人、22.1%）、保護者（13 人、19.1%）

3. 調査サマリー

- 児童生徒の回答者数は、中学 3 年生が最も多かった。小学生の兄弟（姉妹）を回答していた保護者が 2 人いた。
- オンラインフォームでの回答とし、個人が特定されない調査としたことについて、調査方法に対する肯定的な意見があった。
- 回答者数を増やすために、指導主事による市学びの多様化教室松風の保護者会での説明や S S W I による家庭訪問での説明を実施した家庭あったが、回答数が少なかった。
- 学校に行きづらいと感じる理由は、児童生徒と保護者の両方で「学業不振」（授業が分からない、成績が上がらない）が最も多かった。次に、「生活リズムの乱れ」が多かった。学校に行きづらさを感じている児童生徒の学び直し並びに環境や方法について学校・家庭・学びの多様化教室「松風」や民間のフリースクール等と連携して対応する必要があると考えられる。

- 「学校に行きづらいことについて学校に相談しやすいか」について、肯定的回答をした児童生徒は38%（5件）、保護者は54%（6件）と低かった。また、否定的回答をした理由として「相談してもどうにかならなと思わなかった」を選んだ児童生徒が46%（6件）であった。学校に行きづらさを感じている児童生徒の苦しい声や変化に気付いてほしかったという失望感が見られる。指導ではなく児童生徒の話を親身に傾聴する必要があると考えられる。
- 学びの多様化教室「松風」について「知らない」と回答した児童生徒は54%（7件）、保護者は45%（5件）であった。学びの多様化教室「松風」のチラシを調査対象家庭に配布する。
- 学校やその他の場所（フリースクール等）に通っていない普段の日の過ごし方は、「ゲーム・インターネットでの動画視聴」が最も多かった。生活リズムの乱れや視力低下等の健康被害、またはネット・ゲーム依存症の発症やネット犯罪の被害等が危惧されるため、児童生徒だけでなく保護者への、適切な使用について啓発する必要がある。
- 通いやすいと思う学校の在り方について「苦手なことを個別で助けてもらえる」「自分のペースで勉強することができる」という個々に配慮した支援体制を選んでいて。次に、「つらい時は休んだり、半日で帰ったりすることができる」「朝ゆっくり学校に行くことができる」など、緩やかな通学体制を選んでいて。学びの多様化教室「松風」や各学校の教室以外の居場所（スペシャルルーム）での対応に参考とする。
- 安心して学べるような学校をつくるために求めるサポートについて、「学校の中に、教室以外の居場所や勉強できる場所が増えること」という多様な学ぶ場所の確保、次いで「同じ思いをしている友達同士で相談できること」という仲間づくりを選んでいて。各学校での教室以外の学ぶ場の確保についての、学校と対象児童生徒並びに保護者での話し合いをし、通いたい場所をつくる。また、学校に行きづらさを感じている児童生徒同士が自由に話せる場として「424ひまわりルーム」（Teams）を開設する。（学校から配布されているタブレットでも個人のスマートフォン等の端末からでも利用できる。）
- 保護者の困り事として「学校とのやり取り」や「自身や子供の体調不良や精神的不調」を選んでいて。学校と保護者とのやり取りに関して、保護者や御家族の事情に配慮した方法で連携を図るようにする。（児童生徒の安否確認は重要であることは御理解いただきたい。）
- 自由記述には、学校のルールの緩和、学びの多様化教室「松風」の対応、いじめ認知の方法、うつ病等の疾病についての理解など様々な御意見をいただいた。その中で、ある生徒が自分と同じように苦しんでいる児童生徒へ向けて今の気持ちを綴っている。この集計結果を、是非とも学校に行きづらさを感じている児童生徒へ届けたい。そして「疎外感を感じたり、孤立したりしない対応で、心を救える」学びの環境を整えていくために、貴重な意見を参考にさせていただきたい。

調査結果（回答者属性）

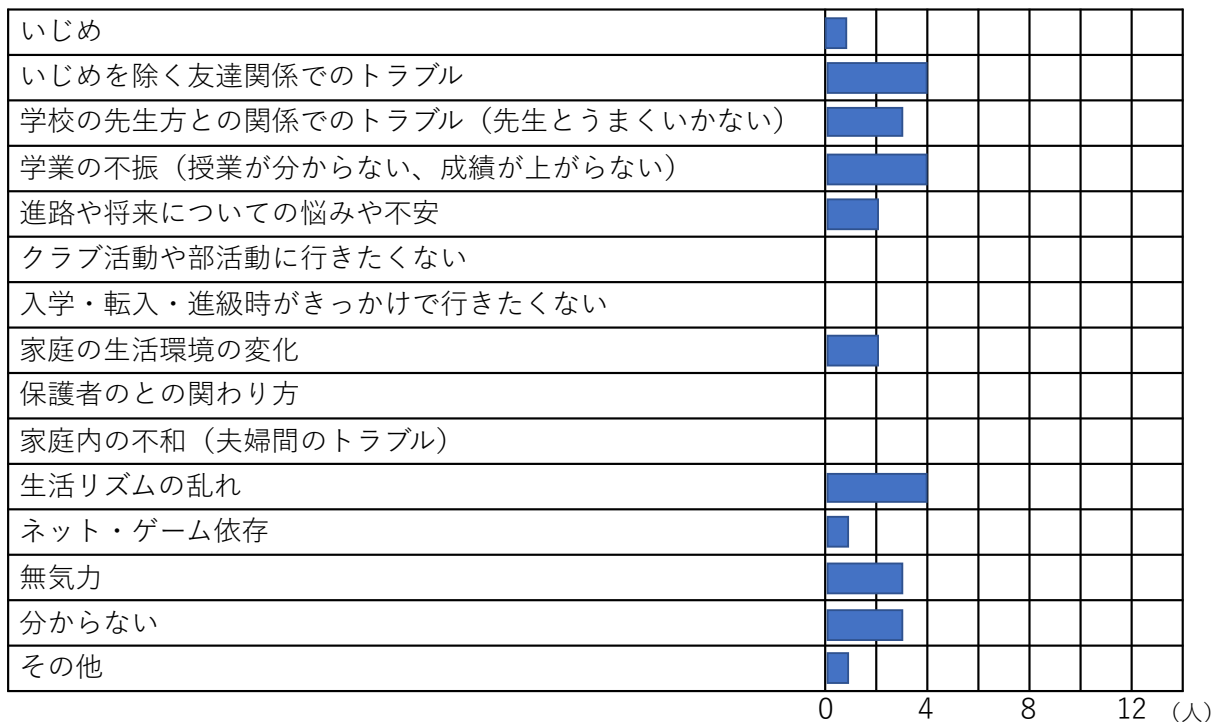
1. あなたは今何年生ですか。

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	合計
児童生徒 (回答者)	2	0	3	1	1	1	0	2	5	15
保護者 (回答者)	1	0	3	0	1	1	2	3	2	13

調査結果

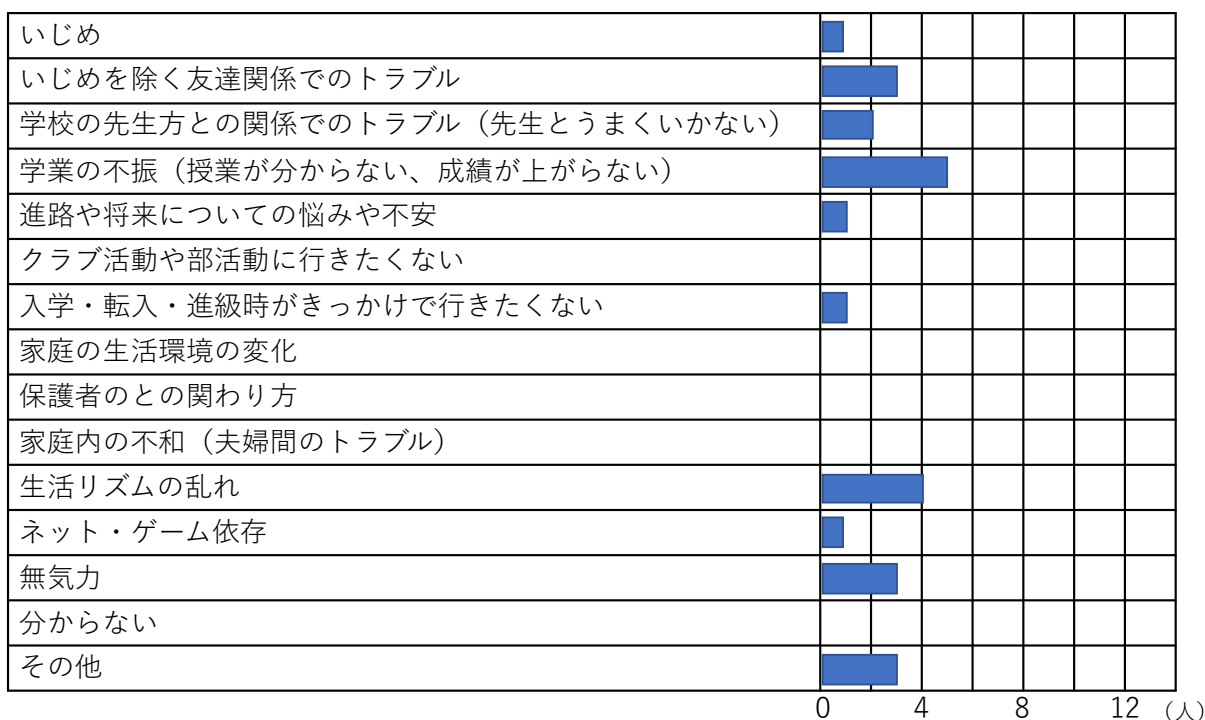
2. 学校に行きづらいと感じるのはなぜですか。（近いものをすべて選んでください。）

○ 児童生徒



その他：双極性障害

○ 保護者



その他：起立性調整障害

人が多い場所が苦手、他人の目が過剰に気になり疲れやすいように思います。

うつ病による体調不良と各症状への理解の無さ

3. 学校に行きづらいと感じている理由を詳しく伝えられる人は教えてください。

○ 児童生徒

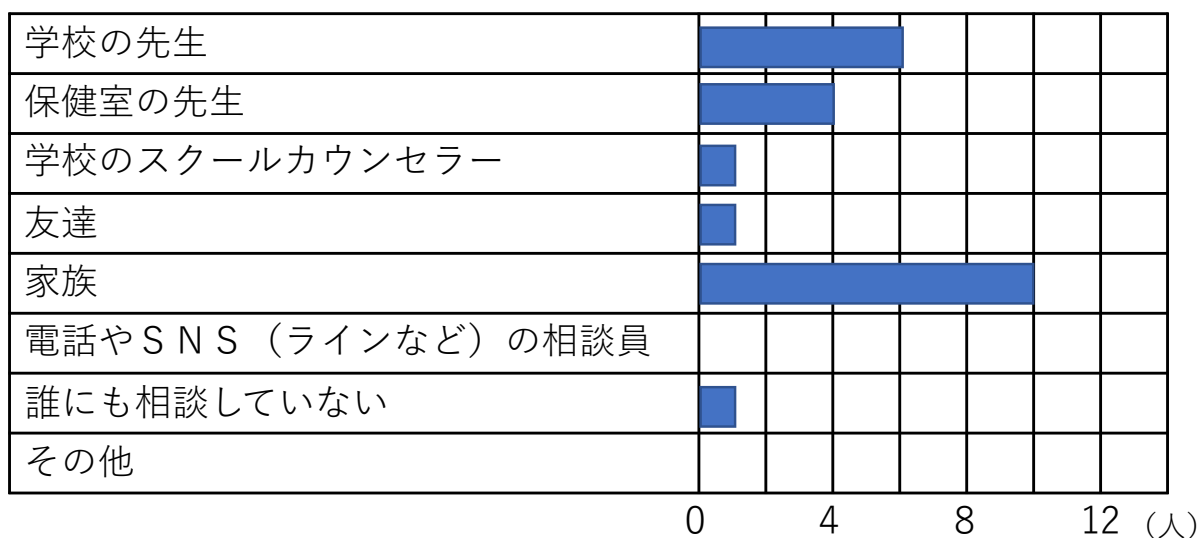
- ・ 朝から行きたくないとかんしゃくを起こすことがある。前と比べたら少なくなったが、行きたくない理由が分からず小学校一年生から悩んだ。
- ・ 先生だからメイクをしても良い、生徒だからメイクしたらだめといった差別のようなものがあったから。

○ 保護者

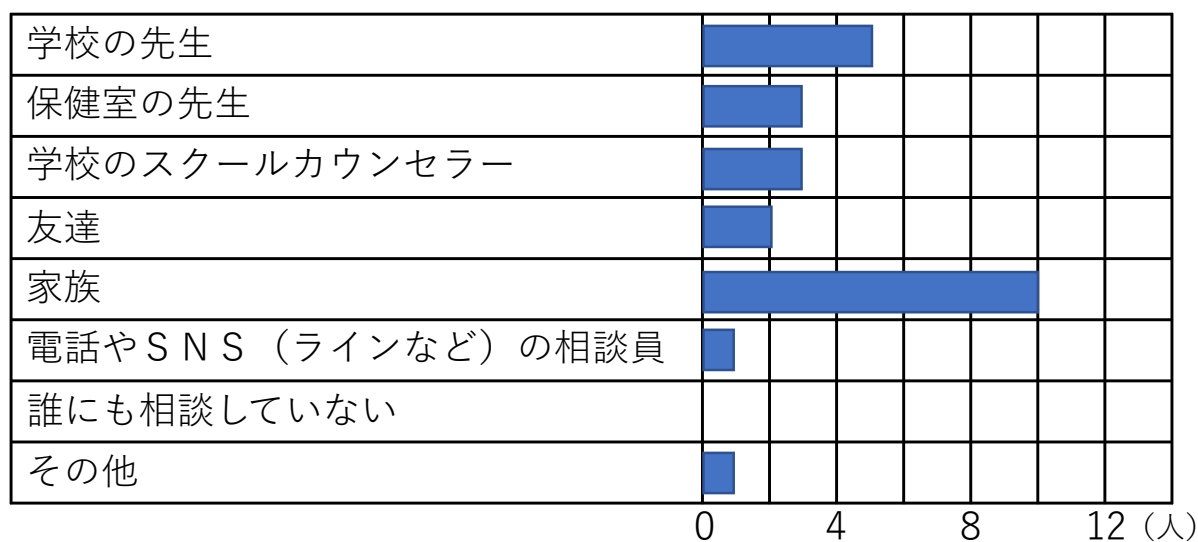
- ・ 周りと同じように行動できなかつたり、新しいことに挑戦する事の難しさだつたり、気持ちを伝えられなかつたりと色々です。
- ・ めまい・たちくらみ・倦怠感・頭痛・失神などがあり、なかなか登校できません。

4. 学校に行きづらいことについて、誰に相談しましたか。当てはまるものを全て選んでください。

○ 児童生徒



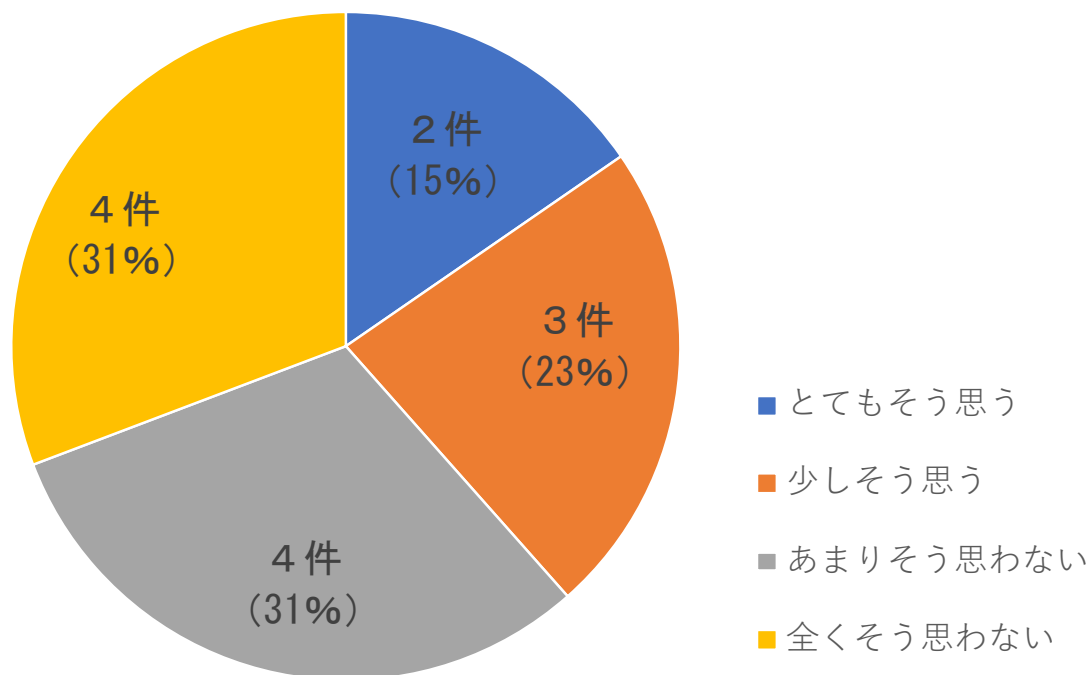
○ 保護者



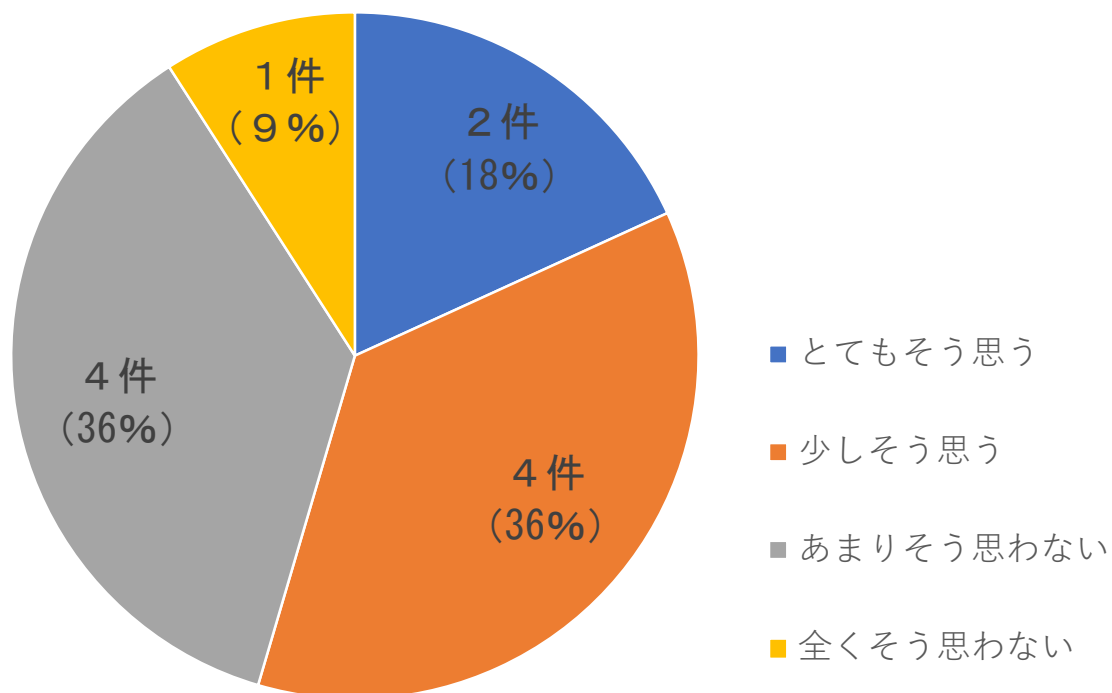
その他：精神科医、精神科のカウンセラー

5. 学校に行きづらいことについて、学校（担任、養護教諭、校長、教頭、部活動顧問など）に相談しやすいと思いますか。

○ 児童生徒

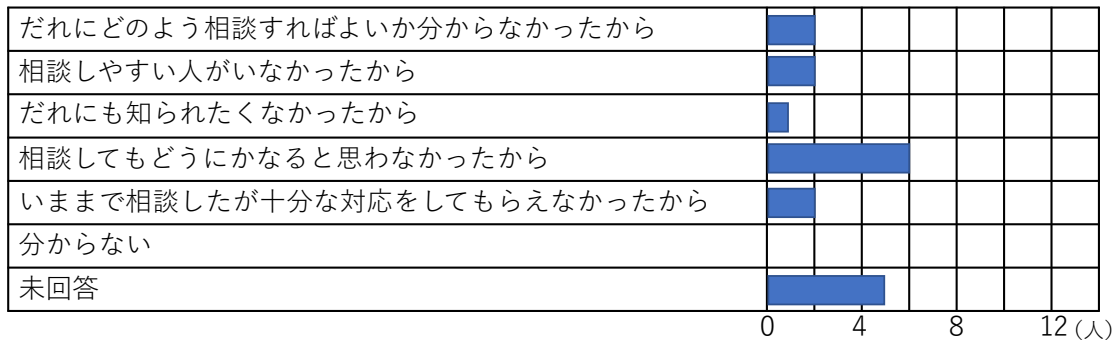


○ 保護者

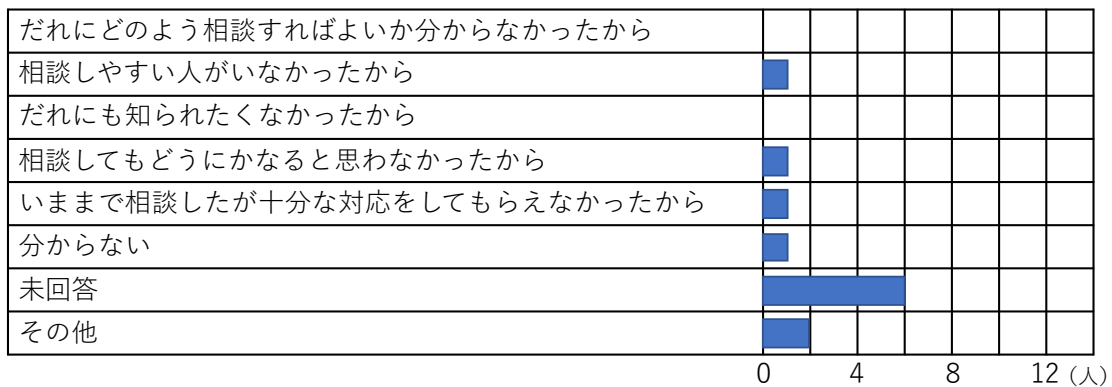


6. 5で「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と答えた人に聞きます。それはどうしてですか。
(近いものすべて選んでください。)

○ 児童生徒



○ 保護者



その他：養護教諭に相談した内容が教頭に筒抜けだったから。
言葉で表現することに時間がかかるからです。

7. 学校への相談について、こうなったら相談しやすいなどの考えがあれば教えてください。

○ 児童生徒

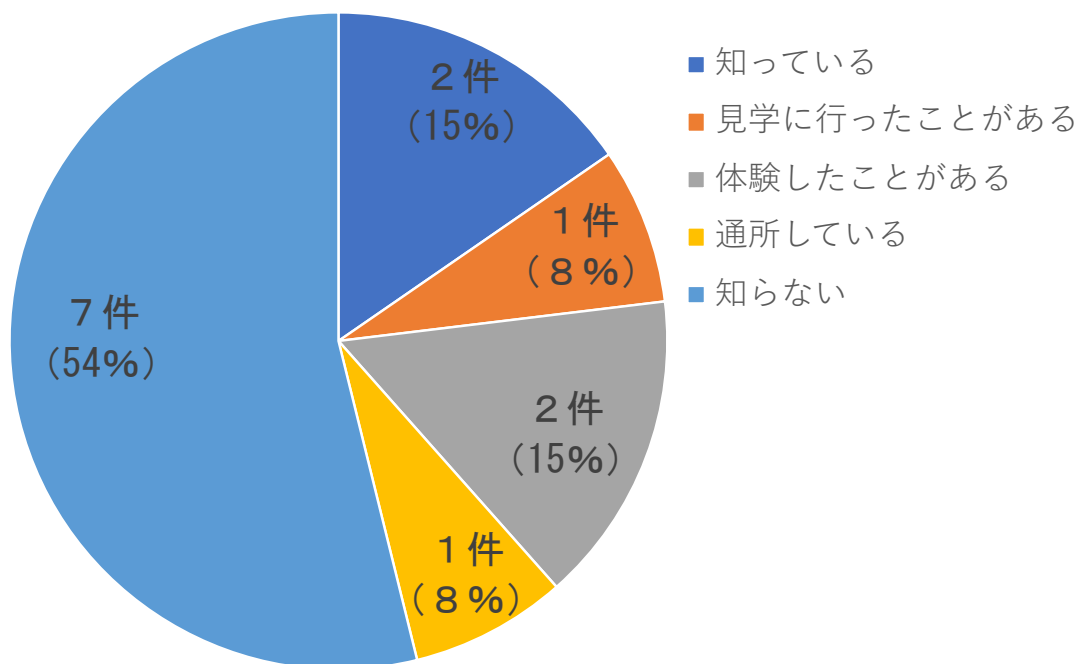
- もっと教員内での精神病に関する理解を深めて頂きたい。秘密は秘密。これを守る方がいてほしい。教員の給与を増やす。(教員のモチベーションの為)
- 生徒に寄り添って少し声のトーンを柔らかくするとか優しく見守るとかしたら相談しやすいと思う。

○ 保護者

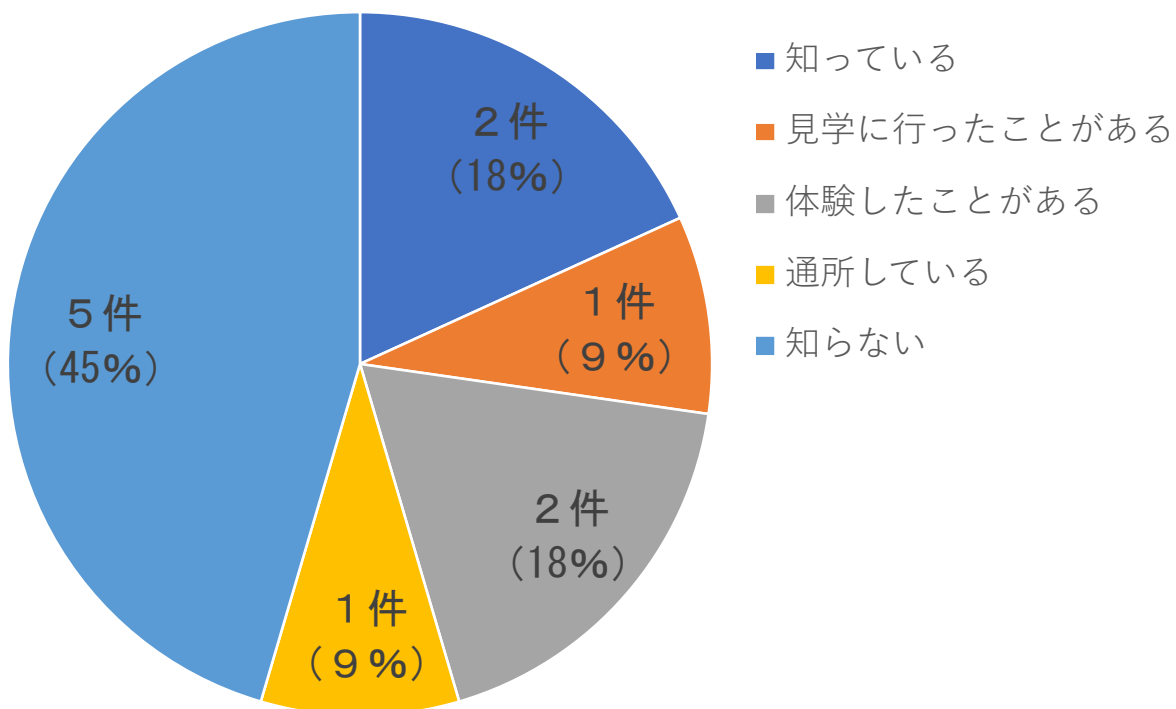
- LINE やメールなど、こちらの仕事の時間を割かなければならない方法以外で連絡を取れるようにしてほしい。急ぎの時は電話でいいと思うが、このフォームのように教員側も空いた時間にチェックでき、こちらもちよとした子供の体調の変化などを伝えられれば、ただ行きたくないのではないと理解してもらえるので。
- 子供が相談した内容を受け入れて、気持ちに寄り添ってくれる回数が増えたら違うんじゃないですか。

8. 本市には不登校児童生徒のために学びの多様化教室 松風（市教育支援センター）があることを知っていますか。

○ 児童生徒



○ 保護者

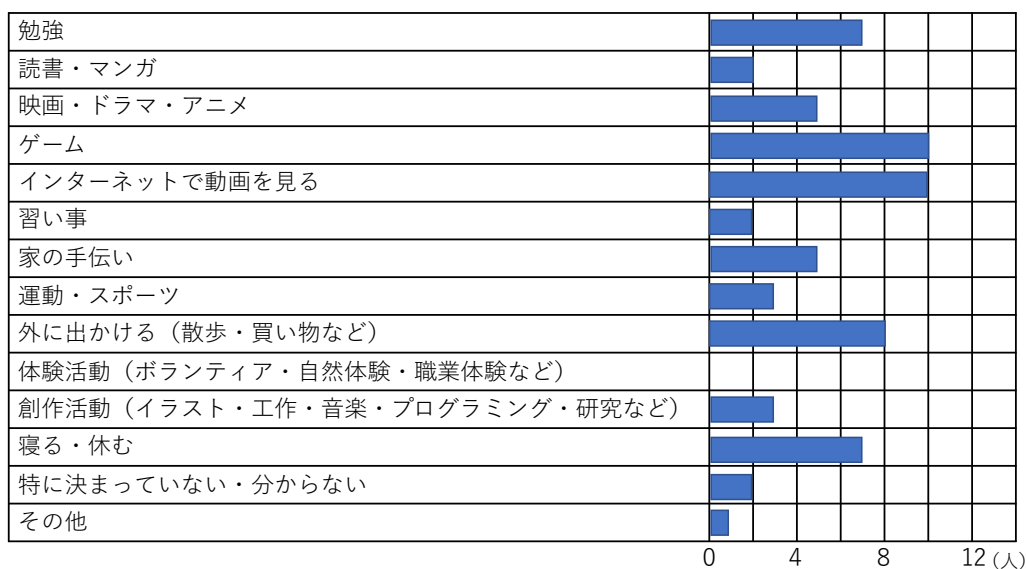


9. 学びの多様化教室「松風」(市教育支援センター)以外のところに通っている人は、どこに通っているか教えてください。

- 児童生徒
 - ・ フリースクールみんなの家ふらっと (1人)
 - ・ 放課後デイサービスいぶき (2人)
- 保護者
 - ・ 放課後デイサービスいぶき (1人)

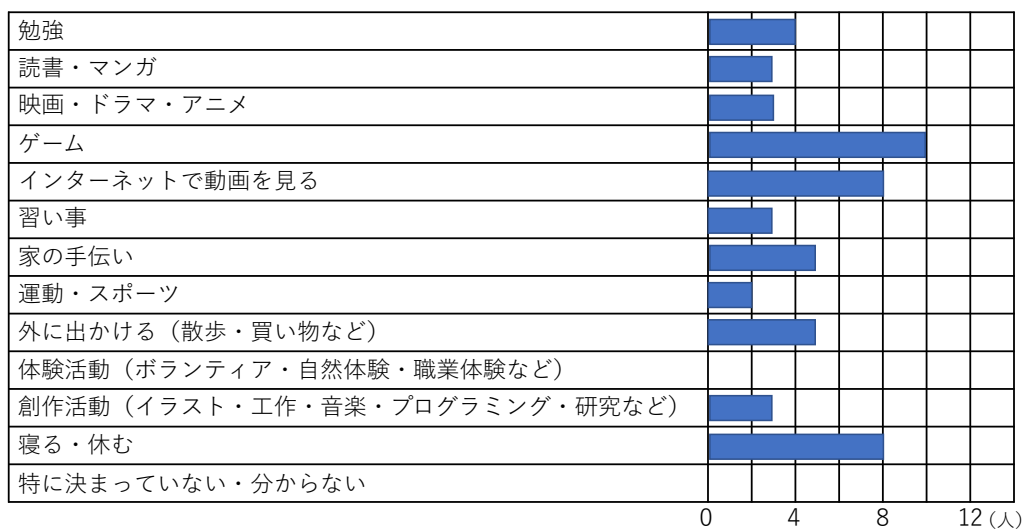
10. 学校やその他の場所(フリースクール、放課後デイサービス等)に通っていない普段の日は何をして過ごしていますか。

- 児童生徒



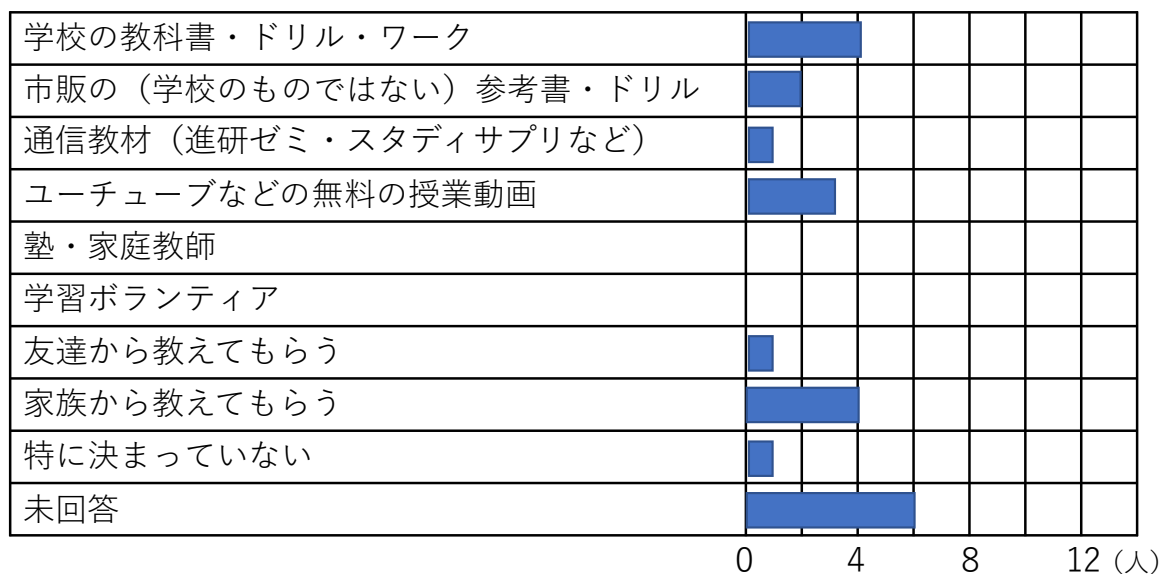
その他：相談しやすいネットの人に相談している。

- 保護者

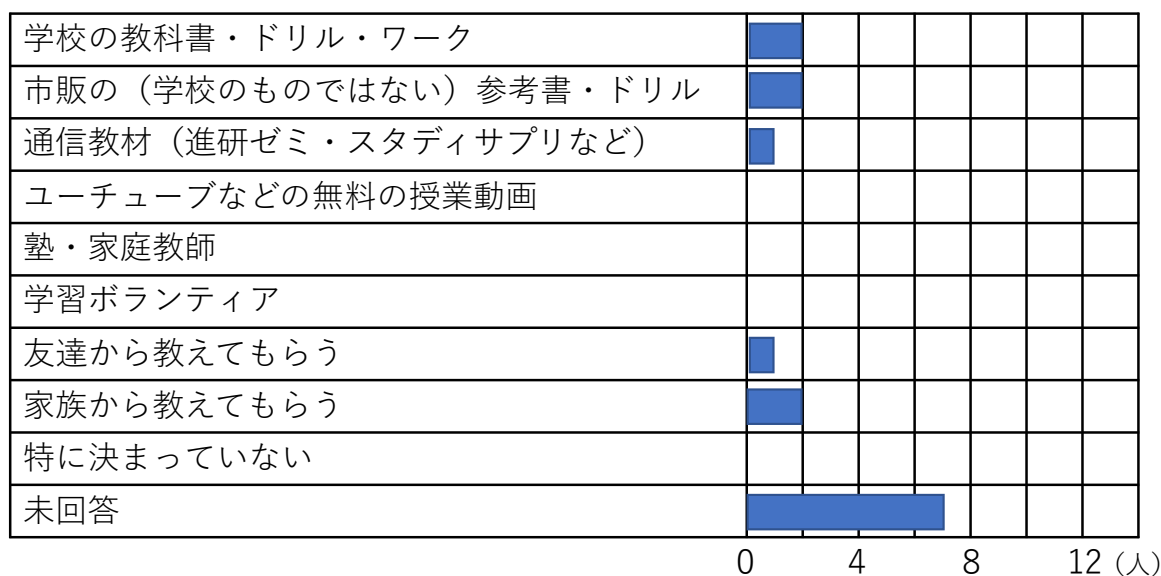


11. 10で「勉強」を選んだ人に聞きます。何を使って勉強していますか。よく使うものを全て選んでください。

○ 児童生徒

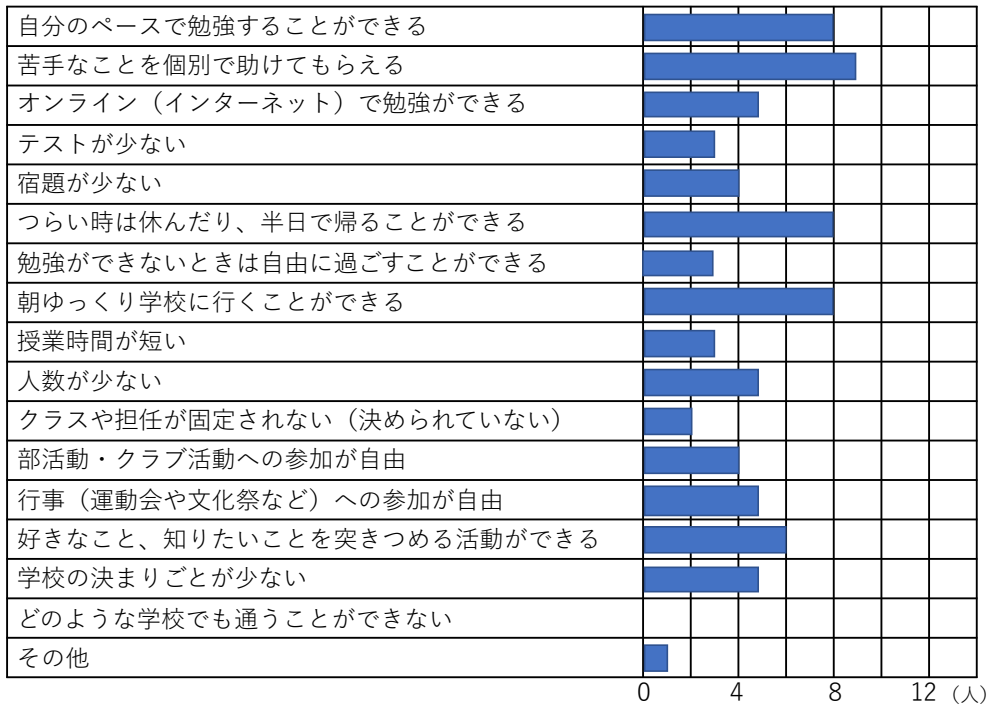


○ 保護者



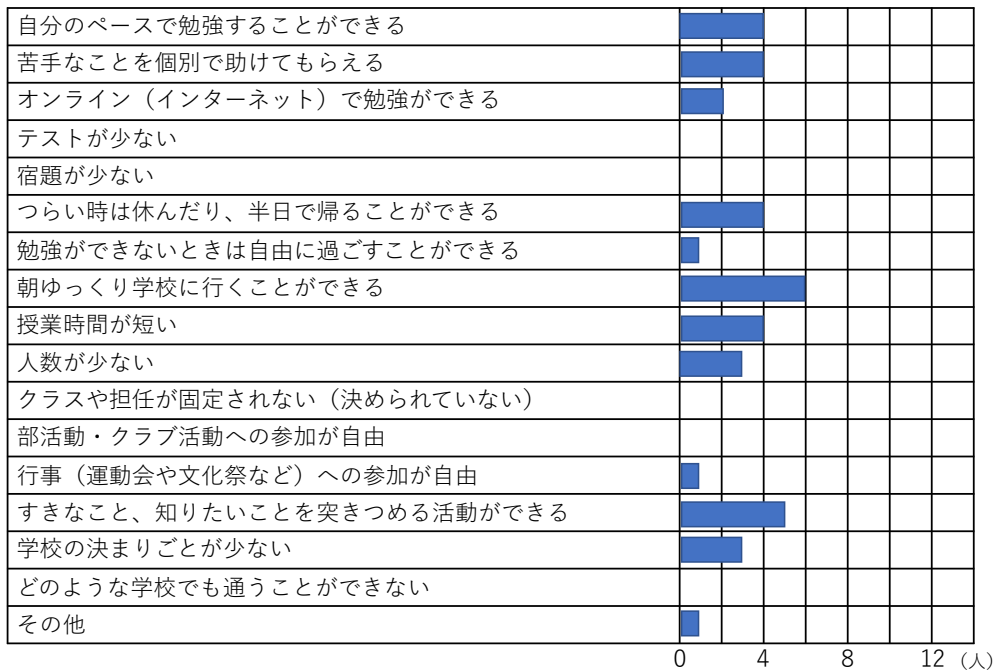
12. どのような学校であれば、通いやすいと思いますか。(近いものをすべて選んでください。)

○ 児童生徒



その他：校則が法律、という学校。

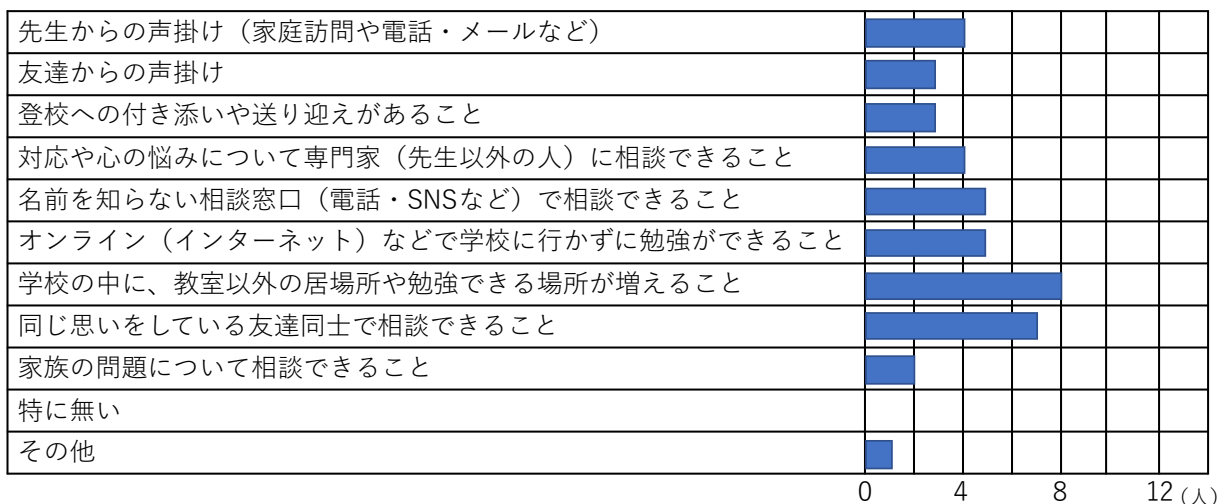
○ 保護者



その他：①メンタルの病に偏見のある教師が、いちいち関わりに来ないようにすること。②偏見のある生徒からの悪意が伝わらないようにすること。

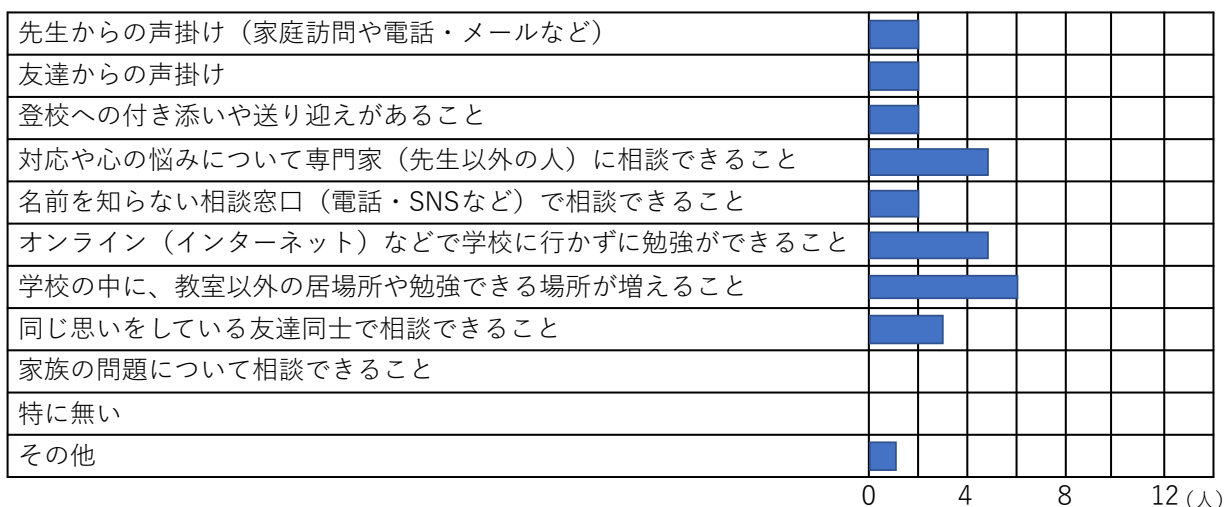
13. 学校に行きづらいと感じている子供たちが安心して学べる学校をつくるために、こんなサポートがあれば良いと思うものがあれば教えてください。(近いものをすべて選んでください。)

○ 児童生徒



その他：義務教育中の人も通える定時制、通信制高校の設立

○ 保護者



その他：養護学校とは違った、心の病や不眠などに特化した学校ができればよいと思う。以前、発達障害の子供から「学校を休んでズルい、来てすぐ帰るとかズルい」という旨のもっとキツイ言葉をかけられた事があり、該当の生徒に注意はしてくれたようだが、「あの子はそういう難しい症状があるので理解してほしい」と言われたので、障害のある生徒と一緒に登校する事は困難だと感じたため。

14. その他、学校のことで困ったりしている人たちのために、あなたが「こんなことをしてほしい」または「もっとこうだったらいいのになあ」と思うことがあれば教えてください。

○ 児童生徒

- これを書いている私も経験したことなので、極めて難しいことを承知の上書かせていただきます。

もし心の変化が変な子供がいて、手を差し伸べられる教員がいたとしても、心配をかけたくない、知られたくない、知られてそれを加害者に言われたら何をされるか分からない等の理由で言えない子供が多いです。

なので、その子が言えるようになる環境を作ってあげてください。言えるようになるまで無理に引き出させずに、待ってあげてください。

私がひとつ思ったのは、いじめ経験者(精神疾患経験者でも良い)からの体験談を学校の行事で実施すること。勇気が出て、話せる子が増えるきっかけになると思いました。

正直、志布志市が実施しているアンケートは何の役にもたっていません。何も変わっていません。

そして今悩んでいる子へ、その、ひと頑張りであなたの世界が変わるかもしれない。そのひと頑張りをしたらもう動けないかもしれない、でもそれでいい。助けを求められたあなたはすごい勇気の持ち主です。それだけ頑張ればいい。あとは頑張らなくていいから、ゆっくり休んでいいから、一緒に生きようね。

最後に、この世には自ら命を絶ってしまう子もいます。ですが、自ら助けようとせずに、その子が心を開くまで待ってあげてください。

以上。ありがとうございました。

- 校則が厳しすぎるからもう少し緩くしてほしい。

○ 保護者答

- 現在通っている学校は該当しないが、全ての学校に於いていじめや嫌がらせ等があった場合、された児童生徒を個別に対応するのではなく、した児童生徒を厳重に対応するべきだと思う。
- 自治体を越えての転校、これを近隣の自治体と連携してできるようにしてもらいたい。私の勤務先の都城と志布志市とは真逆の方向で、娘の通う病院も真逆で、当たり前だが今のご時世共働きで祖父母も働いているので、登校したい日と誰の予定も合わず送り迎えができなくて断念した日何日もある。コロナの移動制限の時でも、都城は生活圏として扱われていたのに、学校だけは絶対ダメですというのは何故なのか…？

あと娘のイジメが発覚した後にイジメがあったかどうかのアンケートはなかった(同級生談)のに、教育委員会にはイジメはなかったという結果だけが報告されていたのにも納得がいかない。当時の校長がかなりおかしい人間だったので、虚偽の報告をした可能性が高い。そういう事が起こらないように、イジメの報告があったら、その後の調査を学校任せにするのではなく、教育委員会主導の無記名で犯人探しが行われない配慮をしたアンケートをしてほしい。

それから松風の話が上でほんの少し出ていたが、卒業生で不登校だったご家庭のお子さん達も松風には行かなくなったと言っていたし、うちの子も行ってすぐに偏見からの心無い言葉で行

かなくなっているのです、不登校児の受け入れ施設ならそれなりの理解のある人間を配属するべきだと思う。

うつ病や自律神経失調症などで不眠からの昼夜逆転などになる子供たちも多いので、宮崎県のように義務教育が受けられる夜間学校を作してほしい。

- ・ 特に期待できない。話してもあんまり意味がないような気がします。
- ・ 疎外感を感じたり孤立したりしない対応していただけたら、心が救われます。
- ・ 同じ境遇の子供たちどうして、もっと気軽に自由に集える場が複数あればと思います。

15. お子様为学校に行きづらいことにより、保護者の方がお困りのことがあれば教えてください。(近いものを選んでください。)

○ 保護者のみ回答



その他：学校に行けない事や進路への焦りや、勉強が遅れている事への焦りなどから自暴自棄になり、喫煙や自傷の延長としてのピアッシングなど非行に走っていた。